

弘前大学資料館 第5回企画展

官立弘前高等学校の日々 ―写真が伝える寮生活―

会期 平成26年6月9日（月）から8月29日（金）まで
開館時間 10時から16時（入館は15時30分まで）
休館日 毎週日曜および8月13・14・15日
入館無料

弘前大学の前身である官立弘前高等学校は、大正9（1920）年に設置され、昭和25（1950）年の閉校まで、文科・理科の学生を27回にわたって輩出してきました。全国各地からここ北国のキャンパスに集まった学生たちは主に学寮で生活し、津軽の四季とともに青春の日々を過ごしました。このたび、同校の22期卒業生である故中谷（深尾）正勝氏のご子息透氏から正勝氏が残した弘前高校時代の写真を多数本学に寄贈いただきました。その多くは中谷氏や友人たちが撮影したもので、昭和17年頃の寮の入寮手続きと新生歓迎ストームから始まり、寮での生活や部活動、体育大会の様子、観桜会や笹森山に繰り出した学生たちの姿などが生き生きと記録されています。弘前大学資料館はこの機会に、これらの写真とともに本学が所蔵する他の写真も加えて、官立弘前高等学校生が過ごした日々を追想する展示を行うことにいたしました。

弘前で学び語らう喜びが強く伝わるこれらの写真を通して、現在の弘大生にはあらためて大学生活を送る意義や喜びをたしかめる機会として、また卒業生や市民の方々には今はなき笹森山など数々の思い出をよみがえらせる機会ともなれば幸いです。

